

# LM312V04(B-part)+SD-VB03A CORE BOOSTER "Ver.Ka"

SPECIFICATION / MODEL NUMBER : LM312V04 GENERATOR OUT PUT : 4970kw THRUSTER:28460kg  
MATERIAL : GUNDARIUM ALLOY & SUPER CERAMIC  
COMPOSITE ARMAMENTS / VULCAN GUN X 2 BEAM CANNON X 2 BEAM SMARTGUN X 1

CONSTRUCTOR:LEAGUE MILITAIRE

## LM312V04(B-part)+SD-VB03A CORE BOOSTER "Ver.Ka"

MG JET FIGHTER LM312V04(B-part)+SD-VB03A CORE BOOSTER "Ver.Ka"

Instruction making staff

Produce/direction : KATOKI HAJIME  
Edition : OMORI SHUNSUKE(GUNDAM A)  
Design : SAITO DAISUKE  
Writing : KOBAYASHI TETSUYA  
          : MITARAI KOJI  
Photo : HONDA KEIGO(ENTANIYA)  
Coloring : MATSUMOTO TAKASHI  
Marking : KONNO YUJI(JAM)



L.M./MULTIPLE JET FIGHTER  
U.C.0153 LEAGUE MILITAIRE

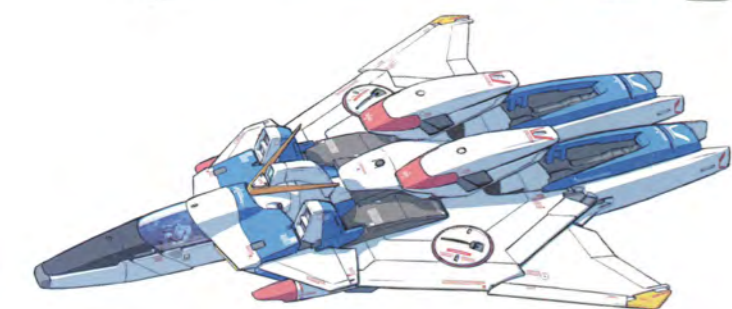
BANDAI 2010 MADE IN JAPAN ※写真の完成品は塗装してあります。





# LM312V04(B-part)+SD-VB03A CORE BOOSTER "Ver.Ka"

## コア・ブースター



↑Vガンダムのコクピットユニットでもあるコア・ファイターとオーバーハング・バックがドッキングした形態。火力と推力が大幅に強化され、戦闘機としての性能も向上する。

↑模型では機体の厚みが抑えられ、航空機らしいシルエットが形成されている。

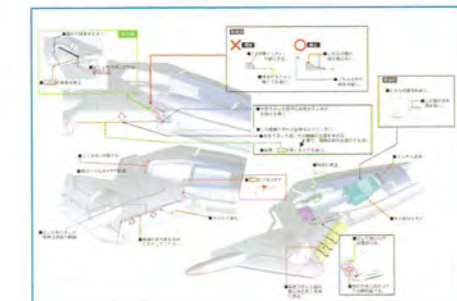
## コア・ファイター



↑別売りの「MG Vガンダム Ver.Ka」と組み合わせることでVダッシュガンダムを再現可能。コア・ファイター3機+Vダッシュガンダムという大ボリュームのセットとなる。

↑付属する武装一覧。ガトリングガンやディスパーザブル・バズはコア・ブースターにも装備できる。

↑付属する武装類は、コア・ブースターやVガンダム、Vダッシュガンダムに用意されたハードポイントに取り付けられる。



↑大振りなパーツの形状が単調にならないように、各部の段差や各コーナーの曲率にも細かい指示が出されている。

↑機体底面には折りたたんだビーム・スマートガン、各部ハードポイントにはガトリングガンやディスパーザブル・バズを接続できる。

↑ガトリングガンとディスパーザブル・バズの画稿。劇中ではほとんど活躍の機会がなかった武装まで付属する。

# 「航空機」としてのコア・ブースター

カトハジメインタビュー

「機動戦士Vガンダム」は平成に生みだされた最初のガンダムTVシリーズである。1993年に放映をスタート。新時代を開拓するため、さまざまな刷新が行なわれていた。白いMS「Vガンダム」、それをサポートするメカニクもガンダム・ワールドを継承しつつ、新たなビジュアルをもったデザインとなっていた。

「Vガンダムは『ガンダムZZ』から久々のTVシリーズ作品ということもあり、RX-78-2ガンダムのコア・ブロック・システムを継承しつつ新しいスタイルを盛り込もうという気持ちがありました。加えて、1980年よりも高度で豊かになったプラモデルの技術を駆使して、新しいスタイルのガンダムを商品化させてみたいという、バンダイホビー事業部の気概も感じられました。そうした流れとも重なって、Vガンダムのサポート的な役割を果たすコア・ブースターは、制作当初からデザイン・プランがなんとなくですが見えていました」

ニュアンスも取り入れてみました」

オーバーハング・バックのコア・ブースター形態は、航空機として説得力のあるフォルムを纏いつつ、Vガンダムとのドッキング形態も、各部の機能に支障が出ないよう配慮されたデザインにもなっている。またVダッシュガンダムは、メイン・ウェポンであったビーム・スマートガンほかにも、バラエティに富んだ武器が存在していた。今回のキットでは、7種の武器が付属している。

「ビーム・スマートガンは初期に発注されたもので、ロングバレルの銃を装備するのは『Zガンダム』の時代から引き継がれてきたものですね。ガトリングガンは同じころ自発的にデザインしたもので、今でも印象に残っています。腰のビーム・カノンは、ボディにフィットさせ、多角形のフォルムにしています。多角形はVガンダムのスカートアーマーや装甲にも使われているモチーフです。カラーも含め、同じデザインスタイルを何度も反復することで、イメージを統一し確立することが狙いでした。『追加武装』という意味合いを感じさせない、開発当初から計画に織り込まれた印象をもつようにしてみました」

MSVの世界ではホルスター代わりとして腰に銃をマウントするMSも多い。Vガンダムのビーム・カノンでは、そこから一歩進めたデザインになっている。「ガンダムF91」で登場していたヴェスパーともつながりを感じさせ、それはV2アサルトバスターガンダムの武装へ

と引き継がれている。ちなみにミサイルポッドと八つ手ビーム・サーベルは、石垣純哉氏のデザインによるもの。おそらく時間の都合もあり、現場のほうで石垣氏に発注が割り振られたのだろう。Vガンダムのラインを取り入れ、デザインの統一が図られている。

「Vガンダムは当初から、多種多様な武装オプションを活かそうという発想があって、肘やふくらはぎは、サイドスカートに汎用のハードポイントを設けてあるのもそのためでした。当時は、ハードポイントを武装システムとして昇華しまとめることができず、アニメ本編では印象が薄かったのが心残りでした。今回、オーバーハング・バックとともに、目の目を見ることが少なかった武器もフォローする機会をいただけたのは、デザイナーとしてうれしい限りですね」

オーバーハング・バック、オプション武器がプラスされることで、Vガンダム本来の姿が完成することになる。

「劇中で何度も登場したVガンダムの変形シーンは、優秀なメカ作画マンによって、ごまかしく描いていただいていた。私も当時に倣い、MG Ver.KaというフィールドでVダッシュガンダムに、ごまかしく臨んだつもりです。アニメの設定から新たな解釈を取り入れたパーツもたくさんあります。ぜひご自身の目で確認してみてください」

## 『機動戦士Vガンダム』の世界

宇宙世紀0153年、地球連邦政府は弱体化し、サイド2で興ったザンスカール帝国が地球圏へ版図を広げようとしていた。地球のカサレリア地方に住むウツとシャクティは、ザンスカール帝国の侵襲に巻き込まれてしまう。ウツはシャクティを守るために、リガミリティアの最新鋭機「Vガンダム」に乗り戦ってしまう。それはウツとシャクティの運命を大きく変える「始まり」であった。



### ウツン・エヴィン

↑地球で平和に暮らしていた13歳の少年。幼いころ両親にMS操縦の教育を受け、それがザンスカール帝国との戦いで開花。「スペシャル」と呼ばれるようになる



↑ビーム・スマートガンは高出力のビームを放つ。本体はスライド伸縮し、コア・ブースターで運搬も可能になっている



↑エンディングで登場する、青いフットカバーのVガンダムヘキサ。ほかにもエンディングではオプション武器が登場していた



↑ビーム・スマートガンと八つ手ビーム・サーベルを回収するVガンダム。八つ手ビーム・サーベルは設定では3段階に伸縮する



↑劇中ではVガンダムヘキサがビーム・カノンを装備していた。ちなみに後期エンディングではV2ガンダムが手に携帯した状態で登場



↑オーバーハング・バックはヘキサタイプにも装備可能で、シュラク隊ほか、マーベットも使用していた



# パーツリスト (×印は使用しないパーツです。)

**A2パーツ** (スチロール樹脂: PS)  
**アンダーゲート有り**



**B2パーツ** (スチロール樹脂: PS)



**C2パーツ** (スチロール樹脂: PS)



**E2パーツ** (×2)  
(ABS樹脂: ABS)



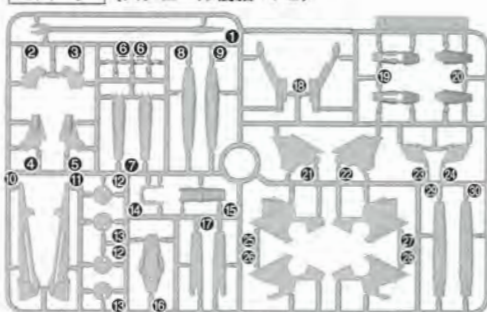
**Gパーツ** (スチロール樹脂: PS)



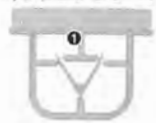
**D2パーツ** (×2)  
(スチロール樹脂: PS)



**Jパーツ** (スチロール樹脂: PS)



**Iパーツ**  
(ポリエチレン: PE)



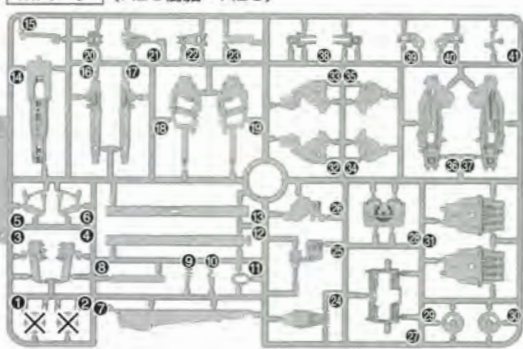
**Kパーツ**  
(スチロール樹脂: PS)



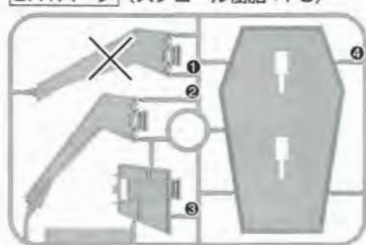
**Lパーツ**  
(スチロール樹脂: PS)



**Mパーツ** (ABS樹脂: ABS)



**BA1パーツ** (スチロール樹脂: PS)

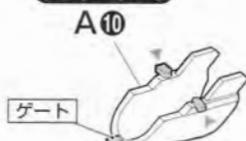


カラーシール……………1枚  
(シール3枚 予備)  
マーキングシール……………1枚  
ガンダムデカール……………1枚

## アンダーゲートの切り方 ▶ アンダーゲートマークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※説明書で **アンダーゲート** と表記されているパーツには裏側にゲートがあります。  
▶ の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。

**アンダーゲート**



## 注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れてください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

## 〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

|           |               |            |               |                 |                |                 |
|-----------|---------------|------------|---------------|-----------------|----------------|-----------------|
|           |               |            |               |                 |                |                 |
| ・鋭い部品を切る時 | ・シールの番号       | ・カラータイプの番号 | ・反対側に取り付けるパーツ | ・両側に同じパーツを取り付ける | ・向きに注意して取り付ける  | ・この向きです         |
|           | <b>x2</b>     |            |               |                 |                |                 |
| ・切り取る時    | ・部品を数値の個数作ります | ・先に組み立てます  | ・後に組み立てます     | ・数値に合わせて回転させます  | ・どちらかを選んで取り付ける | ・反対側も同じように動かします |

### 1 CORE BOOSTER

#### 1-1 CORE FIGHTER

〔コア・ファイターの組立〕

※E10を指で上から押さえて取り付けます。

※E13を指で上から押さえて取り付けます。

※奥までしっかりと、はめ込みます。

※奥までしっかりと、はめ込みます。

※奥までしっかりと、はめ込みます。

※E9・E10にマーキングシールを貼る場合は、P15を参考に貼ってください。

※D10:Ver.Kaカラータイプ (選んで取り付け) B2: TVカラータイプです。



**1-6**  
×2 (2個作る)  
※裏側の凸部分を切り取らないように注意してください。  
A3, D6, A4  
向きをかえます。  
1-5

**1-7**  
Vガンダムタイプ  
A8, A10, C4  
※シールは先に貼ります。(シール)

C9, E4, E5, C3, C6, A2  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※きれいに切り取ります。  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※きれいに切り取ります。  
※シールは先に貼ります。(シール)

**1-8**  
ヘキサタイプ  
A7, A10, C4  
※シールは先に貼ります。(シール)

C7, E4, E5, C8, A17  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※きれいに切り取ります。  
※シールは先に貼ります。(シール)

A14, C1, A16, C2, A15  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※きれいに切り取ります。  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※きれいに切り取ります。

**1-9**  
Vガンダムタイプ  
×2 (各1個作る)  
1-7, 1-8  
※各部品は、向きに注意して組み立てます。

E0, E1, E2, E3  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※きれいに切り取ります。  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※きれいに切り取ります。

**1-10**  
×2 (各1個作る)  
1-9, D3, D4  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※きれいに切り取ります。  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※きれいに切り取ります。

**1-11**  
×2 (各1個作る)  
E8, D8, D12, D13, D1, D2  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※きれいに切り取ります。  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※きれいに切り取ります。  
※アンテナに注意して図の位置まで押し込みます。

**1-12**  
×2 (各1個作る)  
1-11, D7, D6  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※きれいに切り取ります。

**1-13**  
×2 (2個作る)  
A6, A12  
※部品を折り曲げないように注意してください。

**1-14 CORE BOOSTER**  
(コア・ブースターの組立)  
×2 (2個作る)  
M38, J19, J20, A29  
※奥までしっかりと、はめ込みます。

**1-15**  
L14, K12, M37, K10, J17, J24  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※奥までしっかりと、はめ込みます。

**1-16**  
1-15, J27  
※奥までしっかりと、はめ込みます。

**1-17**  
M34, M40, M32, J22, A32, J22  
※羽根をさまないように取り付けてください。  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※奥までしっかりと、はめ込みます。

**1-18**  
J28, 1-17, J30  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※きれいに切り取ります。

**1-14**, J13, A30, J18, J12  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※奥までしっかりと、はめ込みます。

**1-19**  
K11, L14, M39, K9  
※奥までしっかりと、はめ込みます。  
※奥までしっかりと、はめ込みます。



**1-20** ※奥までしっかりと、はめ込みます。

**1-19**

J23

J17

J25

〈横から見た図〉

※ミゾに合わせてスライドさせます。

**1-21** (向きに注意) (後に組む)

! M39

〈内側から見た図〉

M39

J24

(向きに注意) (上から見た図)

! A31

**1-22** **1-21**

J26

※きれいに切り取ります。

J29

(シール)

1-20

**1-23** **1-14** ※奥までしっかりと、はめ込みます。

(向きに注意) ! A30

J12

J18

1-22

J18

(先に貼るシール)

**1-24** ※シールは先に貼ります。

L18

M28

(向きに注意)

L16

(先に組む)

! L17

(向きに注意)

L10

(向きに注意)

! L19

〈横から見た図〉

〈横から見た図〉

**1-25** M27

※奥までしっかりと、はめ込みます。

! M21

(向きに注意)

**1-26** J16

M24

1-24

1-18

(両側動かす)

1-25

! M22

(向きに注意)

1-23

**1-27** ※ランディングギア (A30・A31) は外しておきます。

1-12

**1-28**

1-27

1-26

〈後ろから見た図〉

※ブースター部がイラストの位置になっているか確認してください。

※C31は、好みの場所に飾ってください。

**1-29 BASE** [ベースの組立]

(選んで取り付ける)

1-12

A6

〈後ろから見た図〉

※バンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) を使用してディスプレイできます。

BA10

BA14

**1-30**

(選んで取り付ける)

バンダイプラモデルアクションベース2 (別売り)

M25

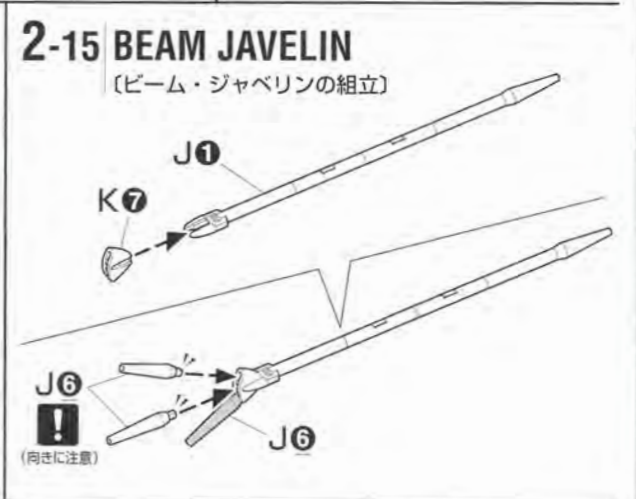
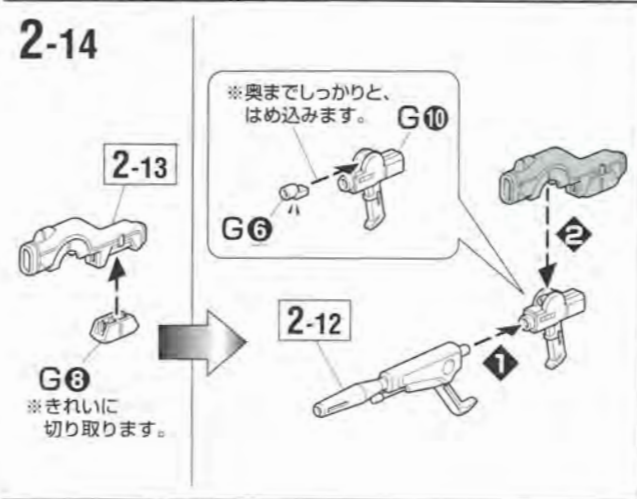
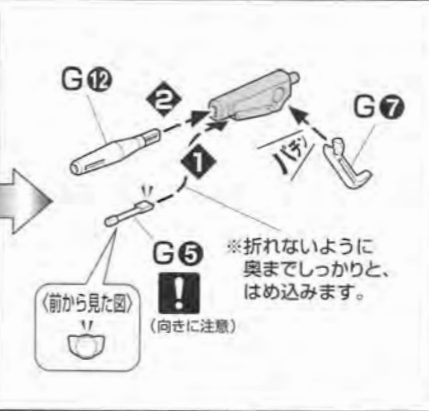
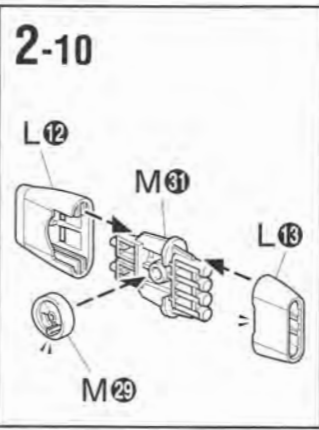
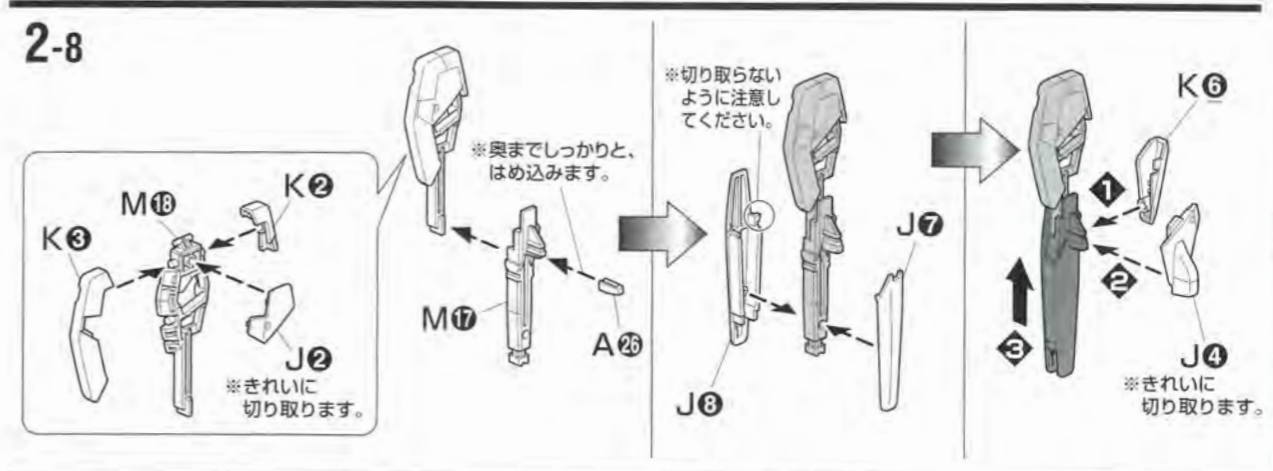
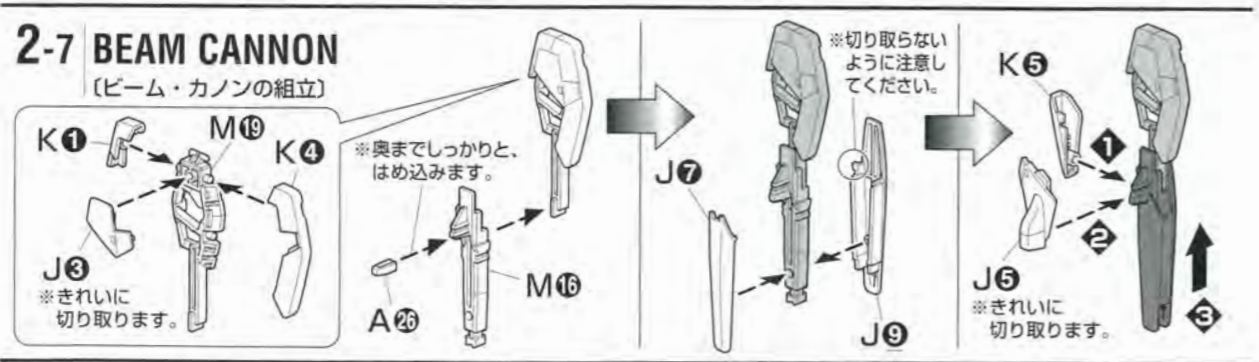
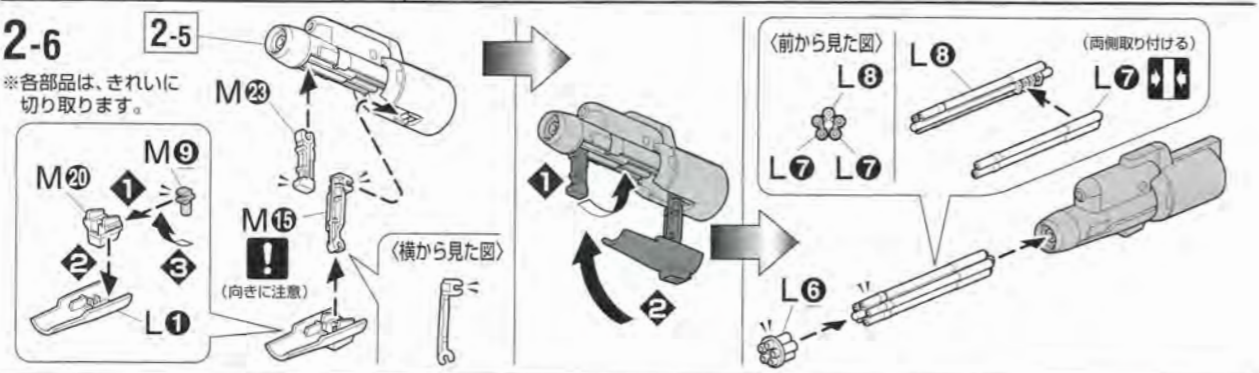
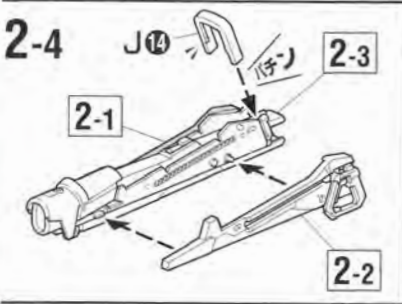
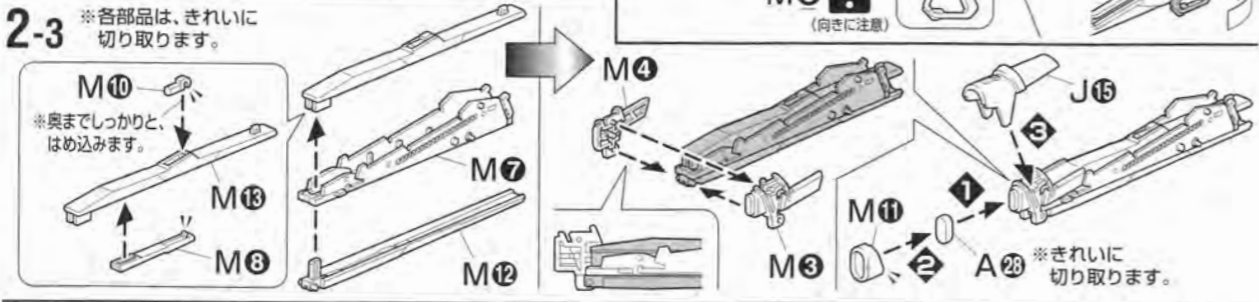
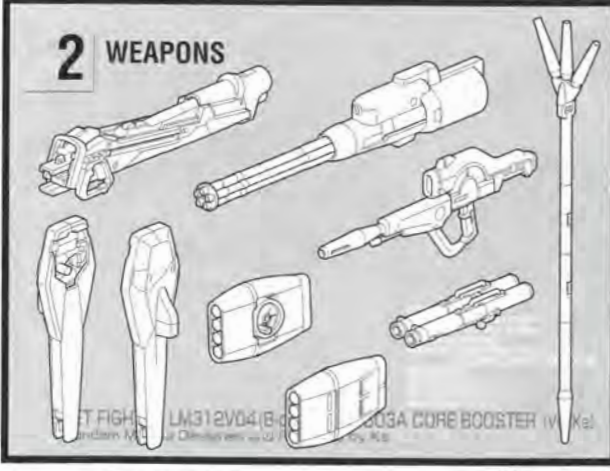
(選んで取り付ける)

バンダイプラモデルアクションベース1 (別売り)

1-29

※1-29にM25を使用した例

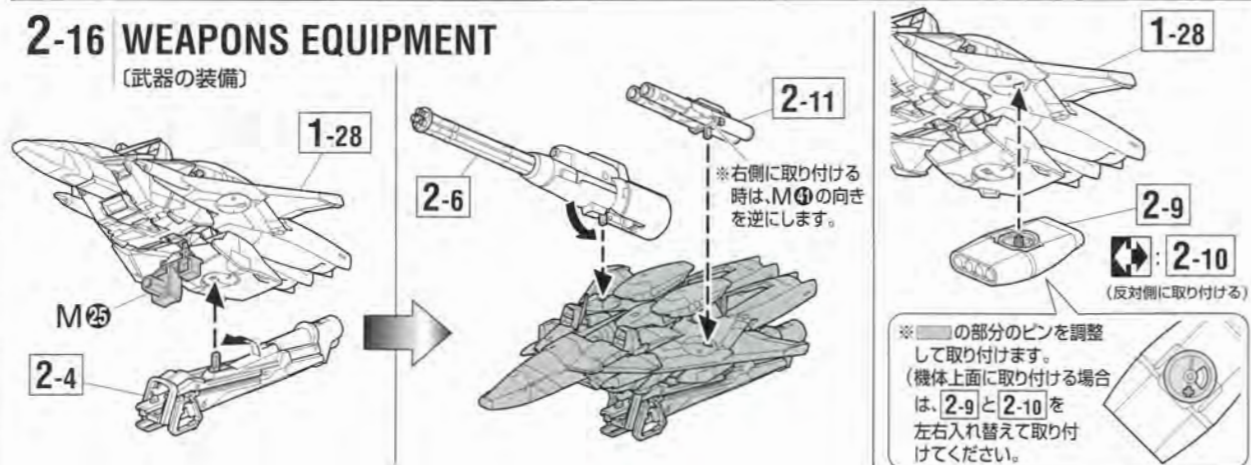






## 2-16 WEAPONS EQUIPMENT

〔武器の装備〕

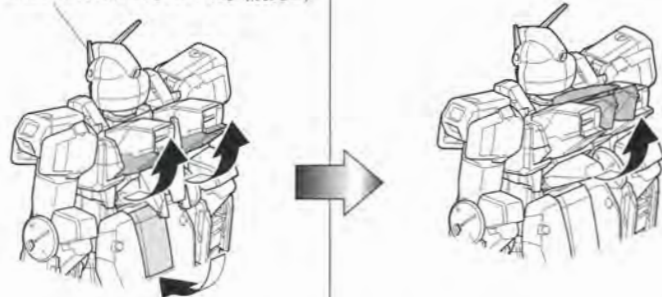


ここからの説明は、1/100SCALE MGシリーズ Vガンダム [Ver.Ka] (別売り) が必要です

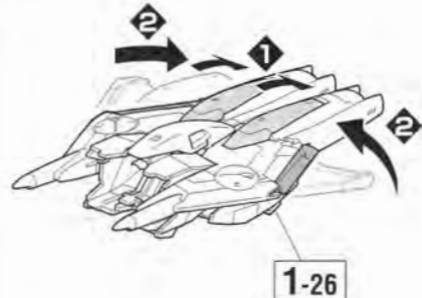
## 3-1 V DASH GUNDAM

〔Vダッシュガンダムへの合体〕

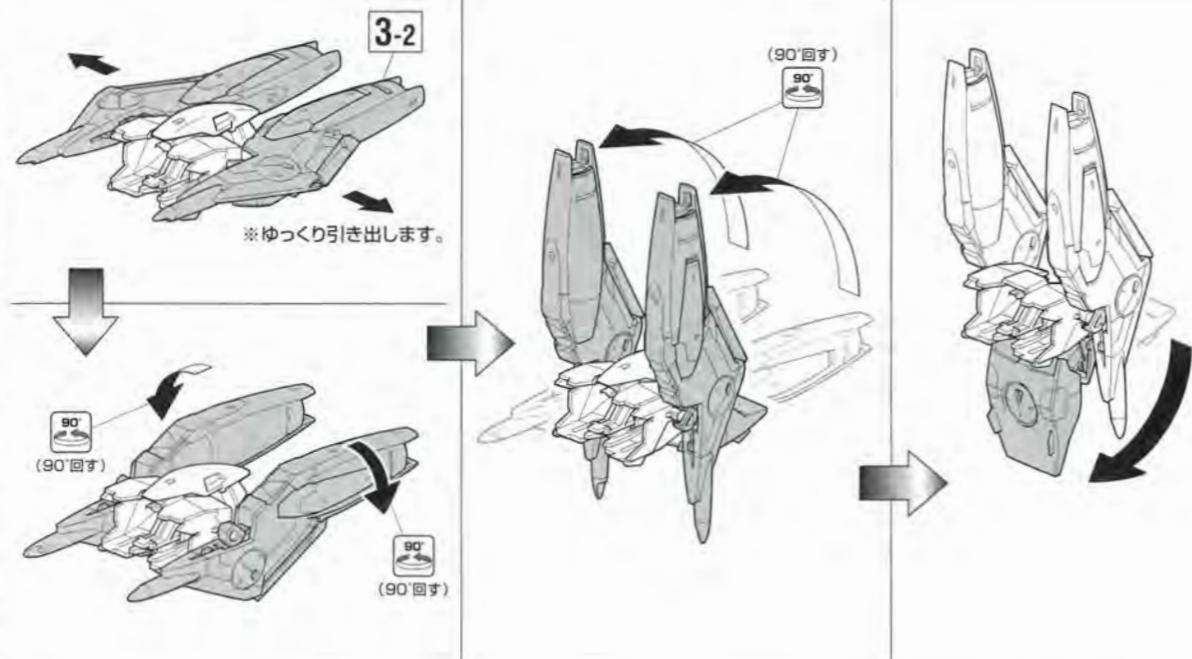
※MG Vガンダム [Ver.Ka] (別売り)



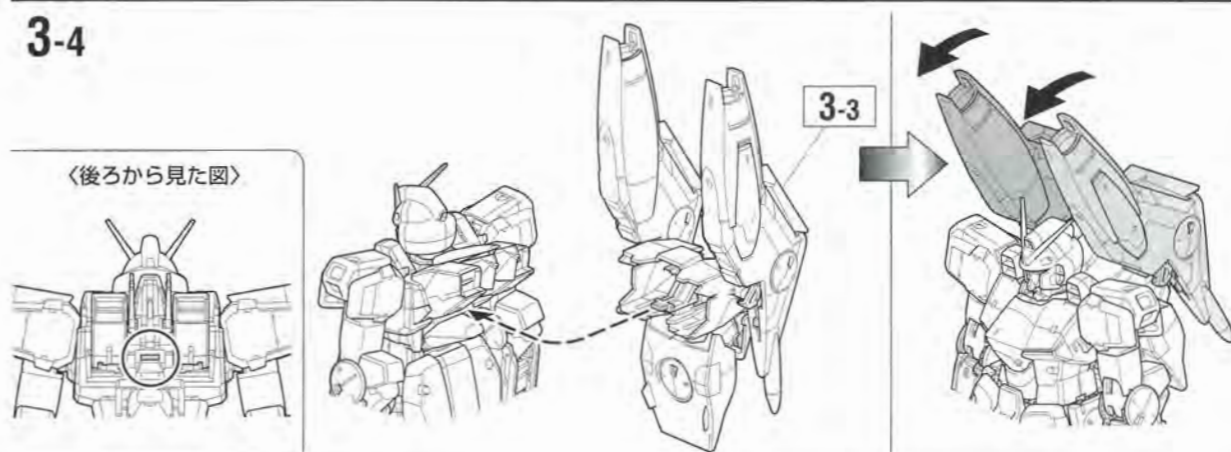
## 3-2



## 3-3



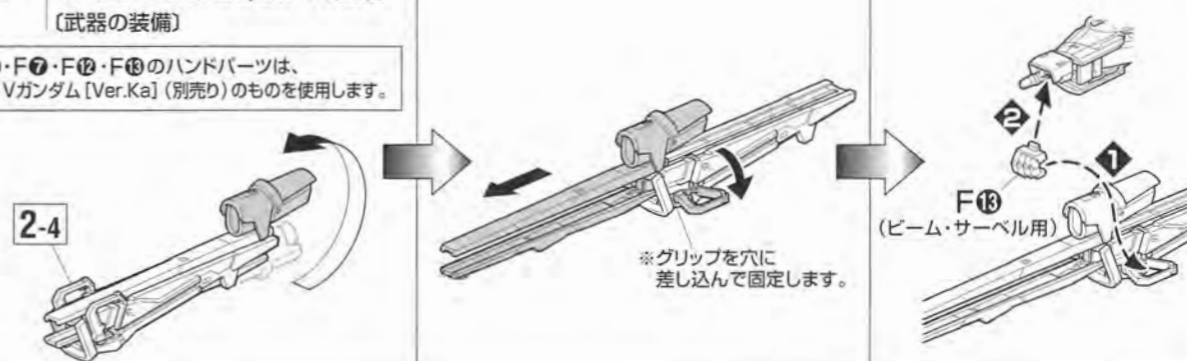
## 3-4



## 4-1 WEAPONS EQUIPMENT

〔武器の装備〕

※F⑥・F⑦・F⑩・F⑫のハンドパーツは、MG Vガンダム [Ver.Ka] (別売り) のものを使用します。

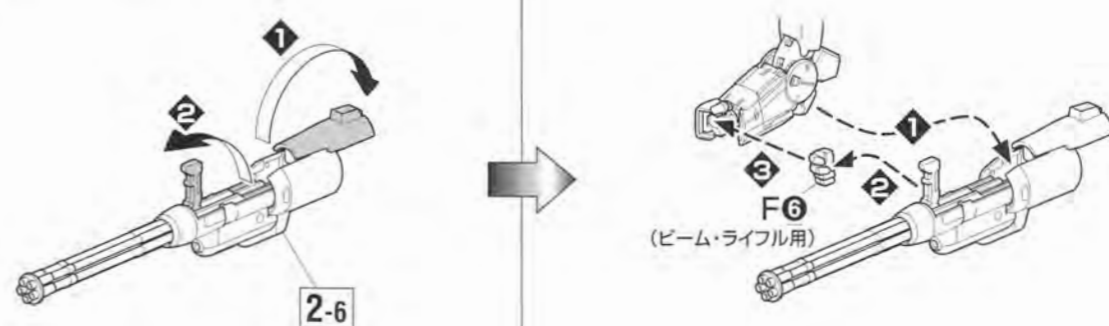


## 4-2



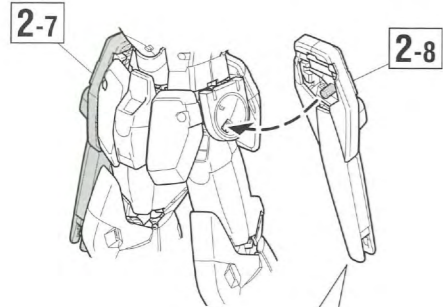
## 4-3

※左手にも持たせられます。





## 4-4



(選んで取り付ける)



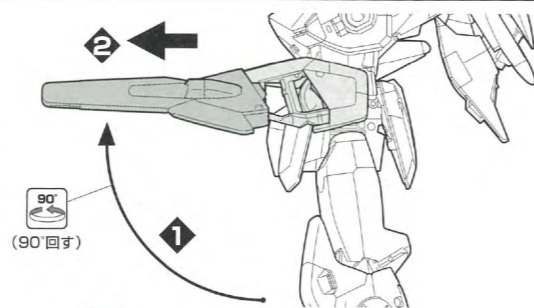
G14

※きれいに切り取ります。

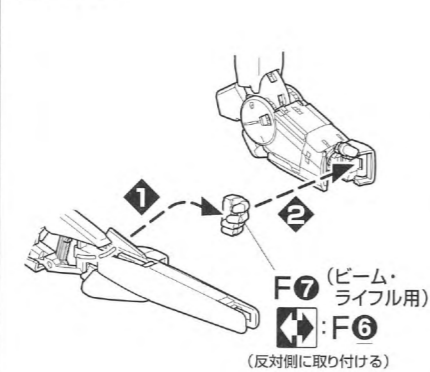
※右側のサイドアーマーに取り付ける時は、G14の向きを逆にします。

## 4-5

(両側動かす)



(両側動かす)

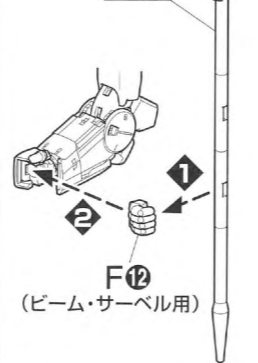


F7 (ビーム・ライフル用)

F6 (ビーム・サーベル用)

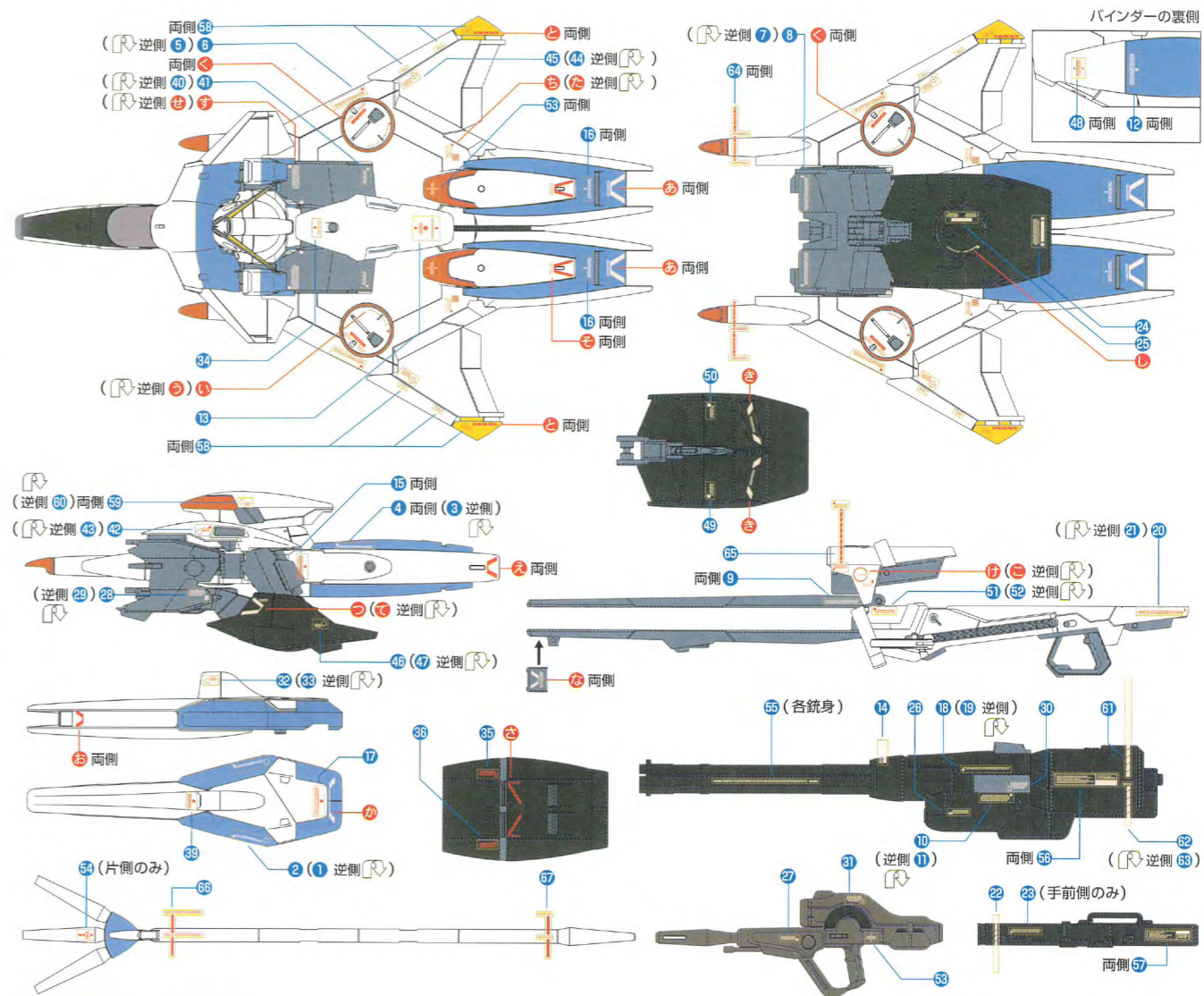
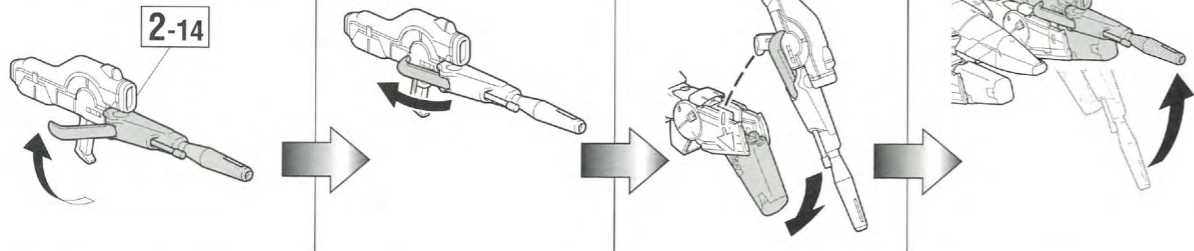
## 4-6

2-15



F12 (ビーム・サーベル用)

## 4-7 ※トップ・ファイターの左腕に装備することができます。

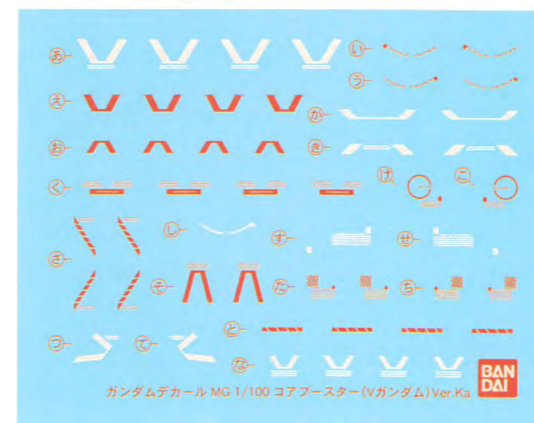


## COMPLETE DIAGRAM for painting and applying decals

## ■ガンダムデカールの貼り方

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペンなどの先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。

## ■ガンダムデカール 65～67



## COLOR CHART used paints and mixture ratio

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| [白] ホワイト100%                                     | [武器1] ミッドナイトブルー 70% + マホガニー 20% + ホワイト 10% | [黒] ミッドナイトブルー 90% + ホワイト 10%                                 | [バックパック] ニューラルグレー 40% + ホワイト 40% + マホガニー 20% |
| [赤] モンゼレッド45% + シャインレッド45% + クリアレッド5% + 蛍光オレンジ5% | [黄] オレンジイエロー 50% + ホワイト 40% + 蛍光オレンジ 10%   | [青] ホワイト40% + コバルトブルー 35% + インディブルー 20% + 蛍光レッド5% + クリアレッド少量 | [カメラアイ] クリア 50% + クリアグリーン35% + クリアブルー 15%    |

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。  
※塗装には、より安全な「水性塗料」の使用をおすすめします。

※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。  
※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

- マーキングシール 1～67
- マーキングシールをさらにきれいに貼りたい場合は、透明な余白をあらかじめカッター等で切り取ってお貼りください。
  - 指示の無い部分に貼る場合には、イラストを参考にお貼りください。
  - 余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。

